

○第86回肥料・飼料等/第50回微生物・ウイルス合同専門調査会
(薬剤耐性菌に関するWG)(公開)

日時：平成26年5月12日(月) 14:00~16:38

議事概要：

(1) ガミスロマイシンを有効成分とする牛の注射剤(ザクトラン)の承認に係る薬剤耐性菌の食品健康影響評価について

審議の結果、

- 評価対象動物用医薬品が、牛に使用された結果としてハザードが選択され、牛由来の畜産食品を介してヒトがハザードに暴露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できないが、リスクの程度は低度であると考えられた。
- なお、薬剤耐性菌については、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とはいえず、また、リスク評価の手法についても国際的にも十分確立されていないと考えられるため、国際機関における検討状況等を含む新たな科学的知見・情報の収集が必要である。

とすることが了承され、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

*マクロライド系抗菌性物質で、牛の細菌性肺炎の治療に用いられます。